



TSURUGASHIMA ROTARY CLUB

# 鶴ヶ島RC会報

2019-2020年度 R.I 会長 マーク・ダニエル・マローニー

第2570地区ガバナー

鈴木 秀憲

第一グループガバナー補佐

藤島 弘士

鶴ヶ島 RC 会長

横山 明美

鶴ヶ島 RC 幹事

木村 武志

第1844回例会 令和2年2月26日(水)  
例会場 アルカーサル迎賓館川越

鴨下三夫君 木村好伸君 田中憲一君  
齊藤大祐君 山岡達生君 登坂一彦君

【開会点鐘】 12:30 横山明美会長

❖ 本日は小林様、細淵様、福山様ようこお出で下さいました。松崎峰夫君 宮前典子君

【司会】 SAA 佐々木龍児君

❖ 小林様、細淵様、福山様ようこお出で下さいました。菊田さん入会おめでとうございます。齊藤勇司君 長峰秀和 君佐々木龍児君 森治高央君

【お客様紹介】 横山明美会長

❖ 本日はようこお出で下さいました。また、先日はメイクアップに際は有難うございました。青柳英史君  
❖ コロナ対策大変ですね。県立の入試28日まであと2日です。 内田敬子君

第2770地区ガバナー～ 小林操様  
川越小江戸 RC 福山健朗様  
入間 RC 細淵克則様

【会長の時間】 横山明美会長  
第277地区ガバナー小林操様本日は有難うございます。宜しくお願ひ致します。また、川越小江戸 RC 福山様、入間 RC 細淵様ようこお出で下さいました。

【卓話】 第2770地区ガバナー～ 小林操様

ポリオサバイバーとして ロータリアンとして  
ロータリー生活の中、自分自身がポリオ(小児まひ)サバイバーであり、いつかは自分の思いを行動に移せれば、と思ってきた私にとって、地区のリーダーになって、いよいよその機会をいただけたことは本当にありがたいことです。

【幹事報告】 齊藤大祐幹事代行  
1. 国際交流協会理事交代の件  
2. 米山記念奨学終了式歓送迎会は終了式を行い歓迎会中止です。

ロータリーは、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)を中心に、三〇余年にわたってポリオ根絶活動を行ってきました。その実績は、世界で数十万件だった野生株の症例数が今では2桁に減り、しかもポリオ常在国が世界で2カ国になるところまでできたことに示されています。長引く根絶活動から、ロータリアンの中には「根絶は無理」「他にプログラムがある」といった意見もありましたが、世界への約束は必ず守る、という信念の下、私たちは粘り強く活動を続けています。

【委員会報告】

【出席報告】 青柳英史委員長

ポリオは、今では紛争地域に残る感染症という感覚ですが、ワクチン投与が広まる以前は、日本でも多くの方が感染していました。まず安価な経口ワクチンを広めることによって野生株ウイルスを根絶し、不活化ワクチンに移行するのが世界の流れです。日本では既に不活化ワクチンによる予防が行われています。

私が罹患した1955(昭和30)年当時、実家は東京都世田谷でしたが、まだ井戸水を飲んでいました。後から考えると、井戸水から感染したのは確かなようで

会員数	出席者	出席 免除者	免除 出席者	出席率	修正 率
29名	27名	2名	2名	93%	

◎ニコニコBOX

- ❖ 卓話を楽しみにしてきました。 福山健朗様
- ❖ 本日も世話になります。 細淵克則様
- ❖ 小林ガバナー本日は有難うございます。宜しくお願ひ致します。 横山明美君  
川野昇君 渡辺道雄君 内野麒一君  
内野一夫君 中嶋清君 清水良一君

す。家の周りでは既に水道が普及していましたが、井戸水で不自由がなかったのが、ポリオ感染の原因となってしまったのです。

ポリオに罹患すると、普通の夏風邪のような症状の後、突然、しびれや痛みが発生し、手足にまひを残すのが特徴です。当時、同じ病院には鉄の肺(人工呼吸装置)も置かれていて、亡くなった方もいたようです。

今日のようにポリオの症状が認知されていなかった当時、また現在においても、紛争地域などで子どもがポリオに罹患した親の嘆き、不安、失望は想像に絶するものがあります。私の母も同じ思いだったようです。

子を罹患させてしまった母の苦しみ

以下は、母が残した手記(小林絹子著『強く明るく生きよ —— わが子に寄せる愛の手記 ——』)からの抜粋です。

7月21日、前日よりやや回復したようなので、操にとって初めての終業式を欠席したため、近所にある受持のE先生のお宅に共にあいさつに行きました。

子どもたちが待ちかねた夏休みに入り、毎日ギラギラ照る日ざし、連日のように30度を超す暑さに、早く海へ連れて行ってとせびりだします。一時の心配もやっと薄らぎ、初めて暑さに気がついた22日の夕方、庭でセミ取りをしていた操が「おかあちゃん、ここがチリチリするんだよ」といいながら、差し出す左手の甲を見てもなんの変わりもないので「なんでもないわよ」と大して気に留めなかったのかつさ。

翌朝またまた9度6分と発熱。夕方水を求めるのでコップを持たせようとすると、左手が動かないという。おもわず主人と顔を見合わせても、まさか恐ろしい「小児マヒ」とは夢にも考えません。医師も口に出してはいわず、日ごろ医学の本を見ては参考にしていた私も、後になってその本を見てなんとその経過の似ていることか。どうして早く気がつかなかったのかと医師をうらみ、自分を責め、すべてをうらんでとりみだしました。マヒのくる前に、吐き気があり、鼻血を何回となく出し、下痢もし、そしてマヒがきてからは左肩関節が痛いと言って夜中泣き続けたのに、ただおろおろとしてさするだけしか私にはできませんでした。

医師から「小児マヒだったらあきらめてください」と無情にも宣告された時の驚き。暑さのためばかりでなく、なんとなくだるかった私の体が、カーッとほせて思わず冷たい医師の顔をにらみ、大声で叫びたくなっているのに口がきけず、胸ばかり苦しくなって倒れてしまいました。なんと弱い母だったのでしょ。それから3日も痛がる操の腕をさすりさすり一緒に熱を出して寝てしまったのでした。

根絶への思いを、ロータリー活動に

私自身と母の経験を踏まえ、根絶に向ける思いを

具体的にロータリー活動で表すため、第2770地区では、全74クラブが10月24日の世界ポリオデーでイベントを開催し、世界と地域社会にポリオ根絶をアピールします。このインパクトはSNS(会員制交流サイト)、メディアを通じ拡散できることは確かです。地域社会の皆さんがポリオを理解し、根絶が実現すれば、天然痘以来2例目の感染症の根絶となります。

皆さんにもう一度ポリオについて考え、理解して、最後の最後、根絶を達成する意義について考えていただきたいと思います。

人類が一步一步困難を乗り越え、将来、あらゆる感染症に打ち勝つ時が来ることを、心から願っています。



【入会式】



菊田真忠 君

小林操ガバナーにバッジを付けて頂きました。ご入会おめでとうございます。

【閉会点鐘】 13:30 横山明美会長

事務所：鶴ヶ島市商工会館内

鶴ヶ島市鶴ヶ丘 855

TEL049-271-6600

FAX049-271-6610

例会場：アルカーサル迎賓館川越

川越市鯨井新田4-11

TEL049-231-7777

E-mail:tsurugashima.rc@ah.wakwak.com

ホームページURL <http://tsurugashima-rc.jp>

例会日時：水曜日 12:30~13:30